

こんにちは
横浜市議員

日本共産党
週刊ニュース

宇佐美 さやか です



2025年9月24日【市政報告】

日本共産党神奈川区事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：045-491-6843
FAX：045-491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

山中市長 新たな中期計画の基本的方向を発表 市民意見を送ろう！

裏面にFAXあり
(10/21まで)



2期目をスタートさせた山中市長は、2026年度から2029年度までの中期的な方向性を示す「新たな中期計画」を策定します。9月10日に計画の基本的方向を公表し、市民意見の募集を行っています。

新たな中期計画では、戦略として「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」を掲げ、「総合的な取組〈14の政策群〉」と「横断的な取組〈明日をひらく都市プロジェクト〉」により、「明日をひらく都市」の実現に取り組むとしています。ぜひ皆様のご意見・問題意識を横浜市へ集中してください。



【党市議団のチェックポイント】

- 「人権・平和」「気候危機対策」が政策群の柱にない…
 - まちづくり…大型開発が柱で、暮らしやすいまちづくりの視点がない…
 - 教育…一番にグローバル人材の育成がきている。不登校や教員未配置などの問題意識がない…
 - 「公共の再生」などの方向性が見えない…など
- また、山中市長の1期目の基本戦略は「子育てしたいまち 次世代を共に育むまちヨコハマ」とし、子育て世帯への支援を中心に行い、全世帯に波及させていく戦略が伺えましたが、今回のものは、対象が見えづらくなっています。市民の声が反映された中期計画となるよう後押ししましょう。

<中期計画策定スケジュール>

2025年11月頃：素案の策定
計画素案に対するパブリックコメントの実施等
2026年5月頃：原案の策定
※策定した原案は、議案として提出する予定です。

計画の方向性

共にめざす都市像「明日をひらく都市」へ
OPEN × PIONEER 2040 YOKOHAMA

戦略 市民生活の安心・安全 × 横浜の持続的な成長・発展
人にやさしいまち・世界を魅了するまち

<市民生活の安心・安全>
あらゆる世代・多様な市民の皆様が安心・安全を基本に、自分らしくいきいきと暮らすことのできる「住みたい・住み続けたいまち」を目指します

<横浜の持続的な成長・発展>
世界をリードする都市として持続的に成長・発展することで未来に希望を抱くことができる「選ばれるまち」を目指します

取組の方向性

▶ 総合的な取組「14の政策群」

毎日の安心・安全 防犯対策の推進 生活基盤のインフラの安全確保	暮らし・コミュニティ 地域協働・共創の推進 多文化共生の推進 図書館ビジョンの実現
防災・減災 地震防災戦略の推進 下水道浸水対策プランの推進	交通 地域の移動手段の確保・支援 交通ネットワークの充実
医療 総合的ながん対策の推進 医療提供体制の確保	スポーツ・文化 市民が「する」「見る」「触れる」 スポーツ・文化の充実・環境整備
子育て 預けやすいまちの推進 経済的・時間的ゆとりの創出 こどもの体験機会の充実	産業・にぎわい 企業誘致・スタートアップ支援 中小企業支援・商店街支援 観光・MICEの充実
教育 グローバル人材の育成 安心して学べる教育環境の整備 DXを活用した教育の推進	まちづくり 世界を魅了する都心部・臨海部のまちづくり 郊外部の魅力的なまちづくりの推進
高齢・長寿 外出支援・健康づくりの推進 認知症対策の推進 単身世帯・要支援者対策の推進	環境 GREEN × EXPO 2027 ネット・ゼロカーボンの推進 循環型社会への移行
障害児・者 インクルーシブなまちづくりの推進 自立支援・家族支援の推進	みどり 公園のまちの推進・動物園の魅力向上 みどりの保全と創造 農体験のまちの推進

画像：基本的方向冊子版より

※方向性リーフレットは市民情報センター（横浜市庁舎3階）及び各区役所広報相談係で、配布されています。本編冊子も閲覧できます。



基本的方向冊子版